

## 2026年度 入学式を挙行

4月上旬、各設置校において  
2026年度入学式が行われました。  
新入生の皆さん、  
ご入学おめでとうございます!

### 輝かしい未来への第一歩

#### 4月3日 大学・大学院

2026年度二松学舎大学・大学院入学式がホテルニューオータニ(東京)・鶴の間で挙行され、保証人、来賓、教職員が見守るなか、812名が入学した。

佐藤晋学長は式辞で、自分の力でさまざまなことに挑戦し成功体験を積むことで、自身の能力の可能性に気付くことができるようになり、将来に向け必要な知識を身に付けるためにも主体的に学ぶ姿勢が不可欠であると述べた。その上で大学としても、学修支援や留学などの体制の充実を図り、学生の成長を後押しする環境を整えていると語った。

また、水戸英則理事長は祝辞で、人文社会科学の知見をAI社会においても通用する強力な実装ツールへと進化させるための「三つの観点」として、AIには持てない倫理的な羅針盤を持つこと、思考のOSとなる言葉の力を鍛えること、社会的なモラルと経済的な合理性を統合する多角的な視野を持つことを挙げ、人文社会科学の本質とその重要性を述べた。

期待に胸を弾ませ会場に集まった新入生にとって、これから始まるキャンパスライフへの希望あふれる式典となった。



佐藤晋学長式辞



水戸英則理事長祝辞



新入生に向け式辞を述べる鶴飼敦之校長

#### 4月8日 附属高校

附属高等学校第79回入学式が日本教育会館一ツ橋ホールで挙行され、267名が入学した。新入生たちは真新しい制服に身を包み緊張の面持ちで会場に入り、開式の辞とともに式が始まった。

鶴飼敦之校長は、入学許可宣言後の式辞で、漢学塾二松学舎の創業者・三島中洲先生は、教育の柱に『論語』を据えていたとし、そこには、人としてどう生きるか、人とどう関わるかという知恵が詰まっていることに言及した。その上で、附属高等学校が大切にしているのは、単に知識を増やすだけでなく「心を育てる学び」であることを強調し、思いやり、誠実さ、礼節、自分を律する力といった、人間としての土台を高校生活の中で少しずつ育ててほしいと伝えた。

保護者、来賓、教職員が見守る中、新入生たちは高校生活のスタートを切った。

式典後には学級担任の紹介があり、新入生たちは緊張が解け期待に満ちた様子で、教員の話に耳を傾けていた。



#### 4月7日 附属柏中学校・高校

附属柏中学校第16回、附属柏高等学校第58回入学式が同校の体育館で行われた。保護者、来賓、教職員に見守られ、中学校96名、高校274名、計370名が入学した。

七五三和男校長は入学許可宣言後の式辞で、校訓である「仁愛・正義・誠実」の精神に触れつつ、中高の時期は人生の大切な基礎が築かれる時期であると述べた。その上で、主体的・計画的に学習に励むことや自覚的な規律を持つこと、目標を明確にすること、グローバルな視点で社会に貢献できる人間へ成長すること、互いに高め合う真の友人をつくることの重要性を述べ、将来の自己実現に向けた基礎固めに努めてほしいと期待を込めた。さらに、二松学舎第3代舎長 渋沢栄一の言葉「夢七訓」を紹介し、夢を持つことの大切さを説き、力強く成長して欲しいと激励の言葉を贈った。

これから始まる学校生活に期待を膨らませた

新入生たちは、学級担任や新たな友人たちと出会い、希望に満ちた学校生活が始まった。



七五三和男校長の式辞を聞く新入生たち



誓いの言葉を述べる高等学校新入生代表・鬼澤拓真さん

## 附属柏高等学校 男子ハンドボール部 全国選抜大会ベスト16

附属柏高等学校男子ハンドボール部が、3月24～29日に大分県で開催された第49回全国高等学校ハンドボール選抜大会に出場し、ベスト16に輝いた。

本大会は、高校ハンドボールでは、インターハイ、国民スポーツ大会と並ぶ3大大会の1つで、全国の各ブロック予選を勝ち抜いたトップチームが集結する。

25日に行われた本校の1戦目の相手は、大分高等学校(大分県)。一進一退の攻防が続いたが、接戦を制し34対30で勝利を収めた。2戦目は、本大会の優勝校である浦和学院高等学校(埼玉県)と対戦。選手たちは強豪を相手に最後まであきらめずに戦い抜いたが、準々決勝進出はかなわなかった。

同部は、創部から50年以上続く長い歴史を持つ。



全国選抜大会ベスト16に輝いた男子ハンドボール部



試合前、円陣で士気を高める選手たち

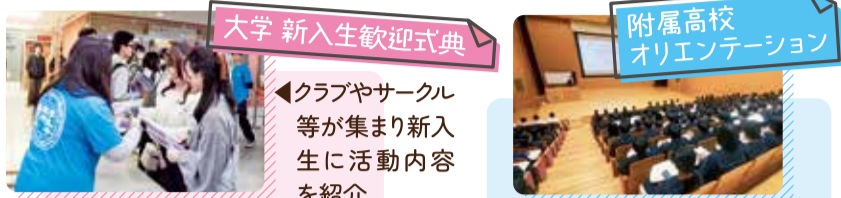
近年では、2024・25年に千葉県高校1年生ハンドボール大会で優勝、2025年に千葉県新人体育大会で優勝、2020年・23年には全国選抜大会への出場権を獲得するなど躍進を続けている。今回の全国ベスト16入りは、これまでの歴史の中でも高

い成績となった。

顧問の池田憂輝先生は、「ベスト8以上でないとならない。その壁を超えるべく、インターハイ出場に向けて選手と万全の準備をしていきます」と語り、さらなる飛躍を誓った。

# 新入生の新生活がスタート

4月に各設置校で行われた新入生を迎えるさまざまな行事や、入学式で宣誓の言葉を述べた学生・生徒の「入学後にがんばりたいこと」をご紹介します！



◀クラブやサークル等が集まり新入生に活動内容を紹介

附属高校  
オリエンテーション



文学部  
都市文化デザイン学科  
1年次生  
よしだ ゆうと  
吉田 有杜さん

エスコンフィールドHOKKAIDOのように人が集まる拠点づくりを学び、地域活性化に貢献できる人材を目指します。

これまであまり得意でなかった科目にも積極的にチャレンジしたいです。また、学校の教育目標の「三兎を追う」生徒になりたいです。

▲高校生活を送る上でのルール等を学ぶ



さとう きら  
1年D組 佐藤 希星さん

附属柏高校  
オリエンテーション

▶入学間もない新入生が校歌コンクールに臨む



勉強と部活の両立を目指します。勉強面は、分野別に細くなる理科や社会に特に力を入れたいです。部活は卓球部でがんばります。



1年1組  
おにざわ たくま  
鬼澤 拓真さん



附属柏中学校  
オリエンテーション

▲中学3年生が新入生に校内を案内

勉強と部活に全力で取り組みたいです。勉強は英語をがんばります。復習を行い学んだことを着実に身に付けられるようにしたいです。



1年C組  
はぎわら ほのか  
萩原 和花さん

## 合同企業説明会「創縁会」を開催

2月12・13日、二松学舎大学キャリアセンターは、九段1号館8階において、合同企業説明会「創縁会」を開催した。会場には、日本航空株式会社や株式会社アニメイトなど、2日間で40社の企業を招き、3年次生を中心に延べ約530名の学生が参加した。本説明会は大学のキャリアセンター主催であることから、安定性や将来性がある企業はもちろん、本学の学びや学生の適性に合う企業に出会える機会となっているほか、学内開催のため気軽に参加できる点も大きなメリットである。また、学外の大規模

な説明会と比べ企業の担当者と落ち着いた話することができるため、企業理解を深めやすい環境が整っている。参加した学生からは「大学で開催されるので安心して参加できた」といった声が聞かれ、学生にとって満足度が高い説明会となった。



企業担当者の説明を真剣に聞く学生たち

## 大学資料展示室「企画展」のお知らせ

大学資料展示室では、定期的に企画展を開催し、本学所蔵の貴重資料、創立者・三島中洲や、漢学塾二松学舎で学んだ夏目漱石など二松学舎ゆかりの人々の遺墨遺品や、和書、漢籍など、貴重な資料を順次展示している。2026年度の企画展は以下を予定。

名称	会期
「資料で辿る二松学舎」展	5月25日(月)～7月11日(土)
「三島中洲と近代 其十二」展	7月27日(月)～10月17日(土)
「岡山ゆかりの文人たち」展	11月9日(月)～12月12日(土)
「大正天皇と二松学舎」展	2027年1月18日(月)～2月27日(土)
没後110年「夏目漱石」展	2027年3月15日(月)～4月24日(土)

お問い合わせ  
学校法人二松学舎  
大学資料展示室

☎ 03-3263-6364(附属図書館)  
開室日時および閉室日は  
HPの企画展カレンダーをご覧ください▶▶▶



## お知らせ



### NEWS 1 各種証明書のオンライン申請・コンビニ発行を開始

二松学舎大学は2月、一部証明書のオンライン申請と日本国内のコンビニエンスストアのマルチコピー機での発行を開始し、従来の郵送申請に比べ、短期間で証明書取得が可能となりました。オンラインシステムの利用申請許可が下りた後はタイミングを選ばず発行することができ、大学窓口へ足を運ぶ必要がなくなるため、在学生のみならず卒業生の利便性も高まりました。

詳細は下記から  
ご覧ください



### NEWS 2 レンタル傘を設置しました!!

二松学舎大学は学生支援の一環として、父母会・松苓会の助成により、九段1号館、3号館、4号館、5号館、6号館の各入口にレンタル傘を設置しました。二松学舎公式キャラクターねこ松®が描かれたこの傘は、晴雨兼用のため、雨天時はもちろん日差しの強い日にも活用できます。校舎間の移動時の使用を目的としているため、使用後は各校舎の傘立てに必ず返却をお願いします。



### NEWS 3 二松学舎公式PowerPoint用テンプレートを配布!!

学校法人二松学舎は、学生・生徒の教育支援を目的として、授業や学内外コンテスト、就職活動等のプレゼンテーションで活用できるよう、「二松学舎公式PowerPoint」を作成し、配布を開始しました。シンボルカラーである緑やサポートカラーである青、二松学舎公式キャラクターねこ松®、二松学舎にまつわる偉人のイラストを用いた3種類のデザインがあり、本学の在学生・在校生は、各校のポータルサイトからダウンロードすることができます。



## アジアパシフィック大学と 国際交流センターの 海外留学支援 協定を締結

二松学舎大学国際交流センターでは、学生が見聞を広め、多角的な視野を養うことを目的に、海外留学を継続的にサポートしている。現在、本学が学術交流等協定を締結している海外協定校は43校にのぼる。直近では、2026年2月にマレーシアで初の協定校となるアジアパシフィック大学と新たに協定を締結し、留学先の選択肢がさらに広がった。



アジアパシフィック大学の広大なキャンパス

同大学では世界130か国以上から留学生を受け入れており、国際色豊かな学びの環境が整っている。また、マレーシアは欧米諸国と比べ留学費用を抑え



同大学には多様な国籍の学生が集まっている

やすいことに加え、治安が良く日本人を含むアジア出身の学生も多いため、海外留学が初めての学生にとっても比較的適応しやすい点が魅力だ。

国際交流センターでは、留学に関する相談や情報提供を行っており、学生一人ひとりの挑戦を後押ししている。

留学の魅力は、日本を外から見つめ直せることです。中には気づきにくいものも、外から見ることで鮮明に見えてくるものがあります。その経験が、これからの価値観や世界観を築き、自身の可能性を大きく広げます。



国際交流センター事務室長／留学カウンセラー 齊田 智明

# 2026年度入学者 入試結果

## 大学・大学院

2026年度入学試験は、総合型選抜、学校推薦型選抜、一般選抜および各種特別入試を実施した。

総合型選抜では、志願者の能力・適性や学修意欲、目的意識等の評価を重視し、文学部では新たにⅢ期(文章読解型/書道実技型)を他大学との併願可能にするなど、多様な方式で入試を行った。

一般選抜では、3科目型受験のS方式(入試奨学生選抜型)や2科目型受験のA・B方式、英語外部試験

利用型のE方式、後期1科目型のD方式等に加え、新たに文学部ではG方式(現代文重視3科目型)、C方式(大学入学共通テスト利用 前期2科目型)を導入した。

結果、文学部は508名、国際政治経済学部は264名、計772名の入学者を得た。(編入学者除く)

大学院入試は、文学研究科、国際政治経済学研究科、国際日本学研究科において、秋季(一部は冬季)・春季試験を実施し、計35名の入学者を得た。

## 附属高校

2026年度入試も、定員250名を7つの入試カテゴリで募集した。

昨年度同様、東京都の授業料無償化の影響により、A推薦(単願)での入学者が過半数を占めた。

今春の入試では、都立高校の倍率低下による合格者の増加が影響

し、併願優遇制度を利用した受験生の戻り率が想定よりも若干低下した。しかし、B推薦・C推薦での入学者の増加や、説明会や塾訪問を実施し受験生の関心を高めたことにより、昨年度に引き続き定員を上回る267名の入学者を得た。

## 附属柏高校

志願者数は949名で、前年比118%となった。2026年度入試は進学コースA推薦を停止、スーパー特別進学・特別進学コースの2コース制へ再編した。推薦基準は維持しつつ加点要件を厳格化した。

また、他校の入試制度の変更によ

り併願校として本校を選択する受験生が増加し、前期ⅠのB推薦の志願者数は昨年度400名に対し517名となった。

日頃の探究活動や海外研修等の教育活動全体が受験生や保護者から評価され、結果、274名の入学者を得た。

## 附属柏中学校

志願者数は昨年度の712名から718名となった。12月初旬に実施される第一志望入試の志願者数は少しずつではあるが年々増加しており、確実に本校に入学する受験生の確保につながっている。

2026年度の志願者数の特徴として、東葛地区に加え東京都・埼玉県からの受験生が増加したことがあげられる。説明会や塾訪問、SNSでの発信により本校の教育の特色や学びへの関心が高まったことにより、96名の入学者を得た。

### 大学【文学部】

試験種別	志願者	合格者	
学校推薦型選抜	158	158	
総合型選抜	国際日本・中国学科総合型(書道実技型/小論文型)	20	15
	I期(文章読解型)	209	130
	II期(自己推薦型)	75	46
	III期(文章読解型/書道実技型)	72	40
一般選抜	S方式(入試奨学生選抜型)	158	36
	A方式(得意科目型)	462	114
	B方式(前期2科目型)	196	47
	E方式(英語外部試験利用型)	157	37
	G方式(現代文重視3科目型)	83	20
	G方式(現代文重視2科目型)	128	31
	C方式(大学入学共通テスト利用前期3科目型)	376	101
	C方式(大学入学共通テスト利用前期2科目型)	206	52
	C方式(大学入学共通テスト利用後期)	55	7
	D方式(後期1科目型)	237	17
特別入試	社会人	0	0
	外国人留学生	13	6
	海外教育経験者	1	0
	合計	2,606	857

### 大学【国際政治経済学部】

試験種別	志願者	合格者		
学校推薦型選抜	72	72		
総合型選抜	I期(読解力総合型)	45	42	
	I期(英語資格型)	12	11	
	II期(自己アピール型)	30	24	
	III期(課題解決型)	25	23	
一般選抜	S方式(入試奨学生選抜型)	37	20	
	A方式(得意科目型)	116	59	
	B方式(前期2科目型)	79	43	
	E方式(英語外部試験利用型)	98	51	
	C方式(大学入学共通テスト利用前期)	212	101	
	C方式(大学入学共通テスト利用中期)	18	5	
	C方式(大学入学共通テスト利用後期)	45	8	
	D方式(後期1科目型)	120	9	
	特別入試	社会人	0	0
		外国人留学生(冬季・春季)	116	28
海外教育経験者		3	1	
外国にルーツを持つ生徒		2	0	
合計	1,030	497		

### 大学院【文学研究科】

課程	専攻	志願者	合格者
博士前期課程	国文学	22	14
	中国学	10	6
	歴史文化学	2	1
博士後期課程	国文学	4	4
	中国学	4	4
合計		42	29

### 大学院【国際政治経済学研究科】

課程	専攻	志願者	合格者
修士課程	国際政治経済学	10	3

### 大学院【国際日本学研究科】

課程	専攻	志願者	合格者
修士課程	国際日本学	40	13

### 附属高等学校

入試区分	志願者	受験者	合格者	
推薦入試	A推薦(単願)	168	168	168
	B推薦(併願)	57	49	49
	C推薦(単願)	17	17	11
一般入試	一般Ⅰ	40	40	22
	併願優遇Ⅰ	154	149	149
	一般Ⅱ	40	29	10
	併願優遇Ⅱ	66	54	54
合計	542	506	463	

### 附属柏高等学校

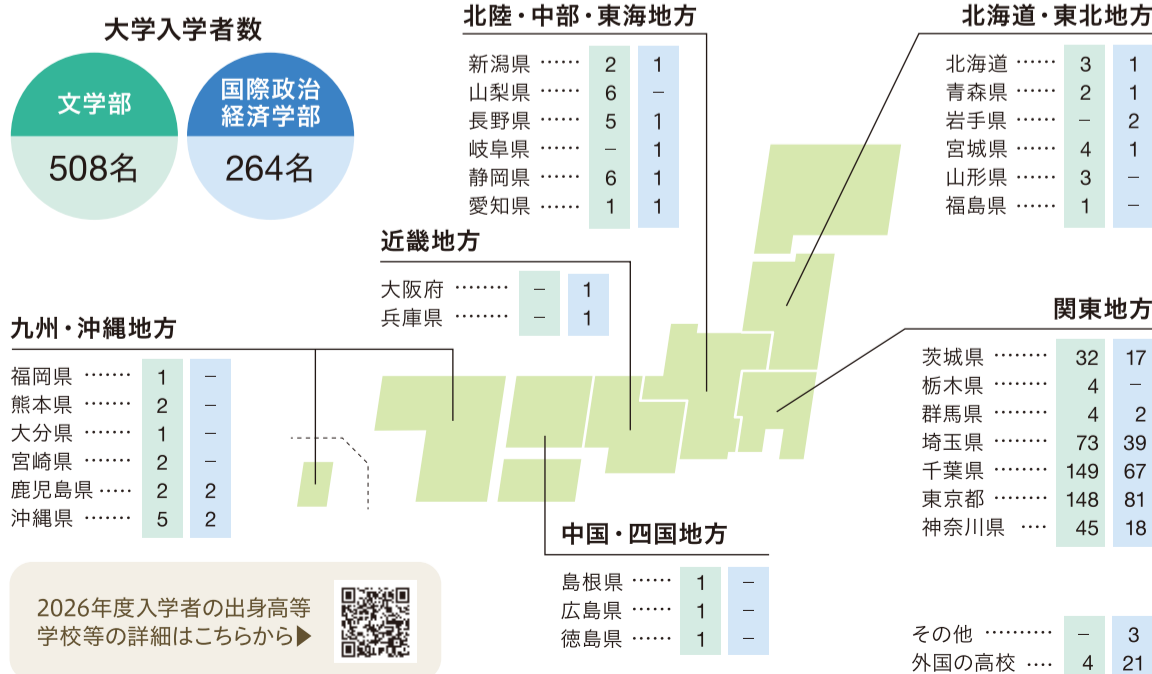
入試区分	志願者	受験者	合格者	
前期Ⅰ	A推薦	73	73	73
	B推薦	517	513	513
	一般	32	32	6
前期Ⅱ	B推薦	289	279	279
	一般	36	35	4
後期	一般	2	2	0
合計	949	934	875	

### 附属柏中学校

入試区分	志願者	受験者	合格者
第一志望入試	63	62	45
総合探究①	193	178	131
グローバル特待①	126	83	46
グローバル特待②	146	64	34
総合探究②	175	43	27
全コース入試	15	14	6
合計	718	444	289

## 2026年度 大学入学者の出身高等学校等所在地マップ

二松学舎大学への2026年度入学者数がまとまった。ここでは都道府県別で入学者数を紹介する。国内の高校からは、関東を中心に全国30都道府県から集まった。





二松学舎  
公式キャラクター  
ねこ松®

# OPEN CAMPUS 2026

2026年度は下記日程でオープンキャンパスを開催予定です。ぜひ、お越しください!

6.21  
sun

7.19  
sun

8.2  
sun

8.23  
sun

11.1  
sun

2027  
3.20  
sat

※日程は変更になる場合があります。 **創縁祭同日開催**

詳細は受験生サイトをご確認ください! ▶▶▶

入試課

☎03-3261-7423 (月~金 9:00~16:30)



## 「二松学舎創立150周年記念募金(教育研究振興資金)」への寄付のお願い

二松学舎は1877年の創立以来、漢学を通じた人間形成を掲げ、2027年10月に創立150周年を迎えます。今日、大学および附属中学・高校に約5,300名を擁する学舎へと発展できたことは、ひとえに皆様のご支援の賜物であり、深く感謝申し上げます。

現在、私学を取り巻く環境は、18歳人口の激減や生成AIの普及により、かつてない激変期にあります。この荒波を乗り越えるべく、本学では2040年を見据えた新長期ビジョン「N'2040Plan」をとりまとめていく所存です。

創立者である三島中洲が「西洋化の奔流」の中で東洋の精神を説いたように、私たちはAI時代において、人間ならではの知恵を育む「共創知によるウェルビーイングの涵養」を新たな理念に掲げます。150年培った「人間中心の教育」を軸に、AIと協働し社会の持続可能性に貢献する教育体制の構築は、未来を切り拓くための不可欠な挑戦です。

こうした事業の推進と教育環境のさらなる充実には、強固な財政基盤が欠かせません。本学の次代への歩みを支えていただくべく、何とぞ本募金の趣旨をご理解いただき、温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

学校法人二松学舎 理事長 水戸 英則

学校法人二松学舎では、「二松学舎創立150周年記念募金(教育研究振興資金)」への寄付を受け付けております。寄付金は使途を指定することができ、さらに、税制上の優遇措置が受けられます。お申し込み方法の詳細につきましては、本学ホームページをご覧ください。クレジットカード・ネットバンキングなどでお申し込みができます。専用振込用紙でのお振込みも可能です。ご希望の方は、下記までご連絡ください。何とぞ、募金活動の趣旨をご理解いただき、格別のご協力を賜りますようお願い申し上げます。なお、遺贈によるご寄付も受け付けております。詳細は下記までお問い合わせください。

スマートフォン  
での寄付は  
こちらから▼



### お知らせ

学校法人二松学舎への多大なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。ご寄付賜りました個人および企業・団体・法人のご芳名を、学校法人二松学舎のホームページ「寄付者芳名録」に掲載しておりますのでご確認ください。なお、お名前の掲載を辞退されたい場合は、お手数ですが下記までご連絡ください。

企画・財務課 ☎ 03-3261-1298(月～金 9:00～16:30)  
✉ k-zaimu@nishogakusha-u.ac.jp

## 二松学舎教育研究振興資金の 2025年度入金額と資金の使途について

学校法人二松学舎では2007年12月から「二松学舎教育研究振興資金」の募金活動を開始し、皆さまのご協力により、2025年度では40,980千円(下表(B)欄)のご寄付をいただきました。本学の教育研究活動、教育環境整備および学生・生徒支援に対し、多大なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

ご寄付いただきました寄付金は、学内で検討した結果、2024年度からの繰越金132,543千円(下表(A)欄)と合わせて、資金の使途を次のように決定しましたので、お知らせいたします。(残額は全て2026年度へ繰り越します。)

今後ともご協力のほど、何とぞよろしくようお願い申し上げます。

### 寄付金の主な使途(用途別)

- ① 大学の教育環境整備 = 全額2026年度へ繰り越し
- ② 附属高校の教育環境整備 = 全額2026年度へ繰り越し
- ③ 附属柏高校の教育環境整備 = 全額2026年度へ繰り越し
- ④ 附属柏中学校の教育環境整備 = 全額2026年度へ繰り越し
- ⑤ 学生・生徒の奨学金の基金 = 学校法人二松学舎奨学金基金(第3号基本金)への組み入れ
- ⑥ 被災学生・経済的困窮学生への支援 = 経済的困窮学生への奨学金として支出
- ⑦ 用途を指定しない = 学校法人二松学舎奨学金基金(第3号基本金)への組み入れ、奨学金として支出、残額は2026年度へ繰り越し

### 内訳表

(単位:千円)

用途	2024年度からの繰越(A)	2025年度の寄付金(B)	合計(A)+(B)	2025年度取崩額(C)	2026年度への繰越(A)+(B)-(C)
大学の教育環境整備	5,195	1,665	6,860	0	6,860
附属高校の教育環境整備	32,375	5,210	37,585	0	37,585
附属柏高校の教育環境整備	2,230	461	2,691	0	2,691
附属柏中学校の教育環境整備	3,486	1,115	4,601	0	4,601
奨学金の基金	0	10,120	10,120	10,120	0
被災学生・経済的困窮学生支援	30,005	100	30,105	105	30,000
用途指定なし	62,613	22,545	85,158	55,312	29,846
小計	135,904	41,216	177,120	65,537	111,583
振替手数料等	△ 3,361	△ 236	△ 3,596	0	△ 3,596
合計	132,543	40,980	173,523	65,537	107,986

(注)金額は千円未満を四捨五入しているため、合計など数値が計算上一致しない場合があります。

## 学校法人二松学舎 R&I社の格付け「A-(安定的)」を維持

学校法人二松学舎は、2026年3月27日付で株式会社格付投資情報センター(R&I)から、発行体格付け「A-(安定的)」の格付けを取得した。同評価は2006年から21年連続となる。

今回は安定的な学生・生徒数の確保、柏高校の進学実績向上等を背景とした良好な財務状況、長期ビジョン「N'2030Plan」の着実な実施状況について高い評価を得た。

## 二松学舎舎友 称号授与

学校法人二松学舎舎友(以下、舎友)の称号は、法人役員として1期以上在職した者、法人評議員として2期以上在職した者、教職員として20年以上勤務した者、大学・高等学校の役職者として通算5年以上在職し、10年以上勤務した者などに贈られる。4月1日付で次の4名に舎友の称号を授与した。(敬称略)

飛田 正太郎

戸井田 晃尚

島田 達彦

米沢 一良

## 九段キャンパスの整備で 利便性が向上

学生、教職員の利便性向上を目指しキャンパス整備を行っています。今回は大学6号館の運用開始と大学1号館学生食堂の部分改装についてご紹介します。



### 九段6号館運用開始

学校法人二松学舎は、2025年3月に取得したオフィスビルの5階に改装工事を施し、2026年4月1日より大学九段6号館として運用を開始した。大学教員の個人研究室とミーティ



教員個人研究室

ングルームを設置した。今後も、1階および2階の活用について検討を行い、その他のフロアは当面収益物件として活用する予定。

ミーティングルーム

九段1～5号館の中心に位置する利便性の高い立地を生かし、教育・学術研究の新たな拠点になることが期待される。

### 九段1号館学生食堂の一部改修工事

二松学舎大学は、4月、九段1号館地下1階にある学生食堂の一部をリニューアルした。下膳コーナー周辺は、使いやすさを重視したレイアウトに改修すると共に、床や壁も刷新した。また、自動販



アイスクリームの自動販売機

売機コーナーにおいてはラインアップを見直し、従来の飲料やパンに加えてアイスクリームの販売機を新たに設置した。



明るく開放的なエリアに改修

# 二松から未来へはばたけ 2025年度卒業式

二松学舎を卒業した皆さん。おめでとうございます！  
3月に各設置校で行われた卒業式の様子と、  
卒業生代表の言葉をお届けします。



**3/17 大学・大学院**  
学位記授与式  
会場：文京シビックホール  
大ホール  
卒業生：671名  
修了者：30名

異なる価値観を持つ仲間たちと話し合いながら結論を導く経験は、他者の視点に立って考える契機となり、視野を大きく広げてくれました。こうした貴重な経験は、今後の人生においても大切な財産となるはずです。

卒業生代表 しまだ なつき 島田 夏希さん



**3/1 附属高校**  
第76回卒業証書授与式  
会場：日本教育会館  
一ツ橋ホール  
卒業生：248名

これから踏み出していく世界では、自分の力で一步一步進んでいくことに今まで以上に不安になってしまうかもしれませんが、二松学舎大学附属高校で得たたくさんの出会いと挑戦する勇気を胸に、自らの可能性を信じて歩んでいきます。

卒業生代表 いのうえ ゆめあ 井上 夢愛さん



**3/3 附属柏高校**  
第55回卒業証書授与式  
会場：体育館  
卒業生：241名

これから先、運命に翻弄され、諦めなければいけないことがあるかもしれませんが、どのような時でも、信念を捨てない意志の強さを大切にします。そうすれば、振り返ったときに、自信を持って、美しい人生だったと思えるはずです。

卒業生代表 くろさわ まなみ 黒澤 舞南さん



**3/19 附属柏中学校**  
第13回卒業証書授与式  
会場：体育館  
卒業生：85名

これからの高校生活、もっともっと大きな壁や乗り越えるべき課題に突き当たることもたくさんあると思います。これからも、互いにますます成長し、互いを尊重し、目標や夢に向かって支え合って過ごしていけたらいいなと思います。

卒業生代表 なかやま まなみ 中山 真菜実さん

## 2025年度卒業生の進路報告

### 大学

キャリアセンター、教職課程センターは、学生一人ひとりに寄り添った進路サポートを行っている。キャリアセンターでは3年次生全員に春と秋の2回、個人面談を実施し、教職課程センターでは教員志望者等に向けた各種対策講座を開催している。

本学の2025年度の傾向は、両学部共に昨年度同様、IT・情報通信業界を目指す学生が多くみられた。また、一般企業就職者数・教員就職者数・公務員就職者数のすべてにおいて昨年度に比べ増加した。

学生が本学での学びを生かせるような企業を紹介するなど、卒業後に学生が納得のいく進路選択ができるよう引き続きサポートを行っていく。

大学 2025年度卒業生の主な進路	
就職率	95.0%
文学部	95.1%
国際政治経済学部	94.7%
教員就職者数	80名
公務員就職者数	33名

※5月1日現在  
※就職率=就職者数÷就職希望者数

### 附属高校

附属高等学校では、生徒の適性と希望進路に合わせた幅広いサポートを行っている。2025年度から、3年生も参加できる形態に変えた「夏期勉強会」(夏休みに実施)には、100名を超える生徒が参加した。本勉強会では志望理由書の添削コースと一般選抜対策コースに分かれて対策を行い、2学期の進路決定につなげた。

一般選抜入試においては、共通テストの難化により私立大学の志願者数が増える中、理系コースから防衛大学の合格者が出るなど、粘り強く取り組んだ生徒の努力が実る結果となった。

附属高等学校 2025年度卒業生の主な合格実績	
国立大学・省庁大学校	4名
千葉 兵庫県立 防衛大学校	
私立大学	321名
学習院 明治 青山学院 中央 法政 立命館 成蹊 明治学院 獨協 國學院 武威 芝浦工業 日本 東洋 駒澤 専修	他多数
併設大学	43名
二松学舎	
短大・専門学校	16名

### 附属柏高校

附属柏高等学校の主な合格実績は、国立大学18名、早慶上理12名、GMARCH50名、成成明学獨國武50名、日東駒専66名という結果となり、4年制大学への進学率は92.2%であった。

勉強の習慣化や進路選択に有用なアプリを活用してPDCAサイクルを定着させ、学習時間の記録を継続的に行った。また、自習室を活用し教員から手厚いサポートを受けるなど学校全体の協力体制のもとで、最後まで粘り強く努力を重ねた生徒が多く見られた。

附属柏高等学校 2025年度卒業生の主な合格実績	
国立大学・省庁大学校	21名
東京学芸 東京外国語 筑波 千葉 横浜国立 茨城 北海道 防衛大学校	
私立大学	397名
早稲田 慶應義塾 上智 東京理科大学 学習院 明治 青山学院 立教 中央 法政 同志社 成蹊 成蹊 明治学院 獨協	他多数
併設大学	12名
二松学舎	
短大・専門学校	12名

# 設置校 NEWS

このコーナーでは、大学、附属高等学校、附属柏中学校・高等学校でのさまざまな行事や学生・生徒の皆さんの様子をピックアップしてお届けします！

## 大学

2026年4月29日

### 昭和100年記念式典 歴史文化学科の学生が参列

4月29日、文学部歴史文化学科日本史ゼミナールの学生14名と担当教員の林英一准教授は、天皇皇后両陛下御臨席のもと、日本武道館で挙行された「昭和100年記念式典」に参列した。本年令和8年は昭和元年から起算して満100年を迎える。政府主催の同式典は、激動と復興の時代を顧み、将来に思いを巡らせることを目的に開催された。

同ゼミでは授業において戦争の記憶を継承するためのフィールドワークや展示会開催に精力的に取り組んでおり、2025年11月には戦後80年に際し、帰還者たちの記憶ミュージアムと共催で合

同展を本学にて開催した。内閣総理大臣をはじめ各界代表等が出席する凜とした雰囲気の中、学生たちにとって歴史の重みを肌で感じる貴重な機会となった。参列した学生は「昭和の時代に生きた人々が積み上げてきたもののおかげで今があることを実感しました」と式典を振り返った。



式典に参列した日本史ゼミナールの学生と林英一准教授

## 附属高校

2026年3月18・19日

### 高1 千代田区の名所を巡る九段フィールドワーク

附属高等学校1年生は、3月18・19日に九段フィールドワークを実施した。本行事の目的は、学校周辺の国家機関や資料館等を調査・見学することで知識や情操を豊かにすることだ。18日には5～8名の班ごとに「神田・神保町コース」「北の丸・日比谷コース」など6コースから選択して事前学習を行い、翌19日に国立近代美術館や国会議事堂などを訪問した。生徒たちは、普段何気なく通学している場所が、歴史的に大きな意味を持つ場所であることを知り、千代田区の魅力を再認識した。

生徒たちは見学コースを決めるにあたり

「桜の開花のニュースを見て、靖国神社の標本木を観察したかった」など、一人ひとりがそれぞれの理由を持ちながらも、当日は班での行動を通して協調性を養い、本年度最後の学年行事を思い出深いものとした。



靖国神社を訪問

## 附属柏高校

2026年2月25日

### ラグビー・スクール・ジャパンの生徒と異文化交流会



教え合いながら折紙を楽しんだ

2月25日、2025年度にイギリス研修に参加し、英国の名門校であるラグビー・スクールで学んだ附属柏高校1～3年生の生徒12名が、柏市にあるラグビー・スクール・ジャパンの生徒9名と、本校で交流会を行った。この交流会は、研修での

体験や学びを共有する機会とし、生徒同士の国際的な交流を深めることを目的としている。

学食で昼食をとった後、スポーツ交流として、体育館でバドミントンや玉入れを行った。また、日本文化体験として、本校の卒業生である折紙作家・勝川東氏を講師に迎え、折紙講座を実施した。生徒たちは互いに教え合い、小鳥やもみじを作り上げた。

生徒たちは、英語はもちろん、日本語を交えながら積極的にコミュニケーションをとる姿が多く見られ、和やかな雰囲気の中で交流を深めた。

## 附属柏中学校

2026年2月18～21日

### 中1 雪の教室でスキー実習

附属柏中学校1年生は、2月18～21日の3泊4日で、福島県会津高原たかつえスキー場にて「雪の教室」と題したスキー実習を行った。

南会津町の冬の自然に親しみ、チャレンジする心、スポーツを楽しむ心を育むこと



青空のもと、スキーを楽しむ生徒たち

を目的に毎年実施している本行事。1日から3日目の午前まで講習を受けた生徒たちは、午後に国際スキー技術検定に挑戦した。この検定は、6階級ごとにそれぞれ定められた基準をクリアすると認定を受けることができるもので、生徒たちは転びながらも諦めることなく練習を重ね、検定本番では努力の成果を発揮。全員が認定の表彰状とバッジを獲得した。さらに検定後には、山頂からの滑走にも挑戦し、全員が無事に滑り切った。

生徒たちはそれぞれの課題から逃げずに向き合い、学年目標である「壁がある、だから行け!」を実践する良い機会となった。

## 人事

### 定年退職 2026年3月31日付

- 文学部 ..... 江藤 茂博 教授
- 大学職員 ..... 飛田正太郎 参与
- 大学職員 ..... 税所 博 参与
- 附属高等学校 ..... 戸井田晃尚 教諭
- 附属柏中学校・高等学校 ..... 島田 達彦 教諭
- 附属柏高等学校 ..... 岩田 浩行 教諭
- 附属柏高等学校 ..... 米沢 一良 教諭 (定年扱い)

### 役職任命 2026年4月1日付

- 副学長 ..... 押野 洋 教授 (再)
- 国際政治経済学研究所長 ..... 高岸 直樹 教授
- 国際政治経済学部長 ..... 高岸 直樹 教授 (再)
- 学務局長 ..... 須藤 和敬 教授 (再)
- 図書館長 ..... 小山 聡子 教授 (再)
- 東アジア学術総合研究所長 ..... 町 泉寿郎 教授 (再)
- 国際交流センター長 ..... 中垣 陽子 教授 (再)
- 教職課程センター長 ..... 矢持 昌也 特別招聘教授 (再)
- キャリアセンター長 ..... 小久保欣哉 教授 (再)

### 新任教職員 2026年4月1日付

#### 大学教員

- 文学部
- 木本 玲一 教授 (都市文化デザイン学科)  
専門：文化社会学、歴史社会学
- 金子 聖奈 講師 (国文学科)  
専門：日本近現代文学、ポストコロニアル批評

- 具 珉卿 講師 (国文学科)  
専門：映画研究、表象文化論
- 権田 瞬一 講師 (国際日本・中国学科)  
専門：中国書道史、中国書法、印学 (篆刻)、書写書道教育
- 伊豆原潤星 講師 (都市文化デザイン学科)  
専門：日本近現代文学、文学社会学

#### 国際政治経済学部

- 尾棹 司 講師 (国際政治経済学科)  
専門：刑法
- 清水 千華 講師 (国際経営学科)  
専門：経営学、経営組織論、組織行動論
- 井上紗央里 特別任用講師 (国際政治経済学科)  
専門：アメリカ演劇

#### 教職課程センター

- 嶋田 克巳 特別招聘教授  
専門：特別支援教育

- 杉山 辰夫 特別招聘教授  
専門：国語科教育
- 伊藤 秀一 特別任用教授  
専門：国語科教育

#### 大学職員

- 佐藤 孝徳 参事 (入試課付課長)

#### 附属柏高等学校教員

- 齋藤 成治 教諭 (担当科目：国語)
- 高梨英里香 教諭 (担当科目：数学・情報)
- 富永 優介 教諭 (担当科目：英語)

#### 新任職員 2026年5月1日付

#### 大学職員

- 小林 恭介 参与 (キャリアセンター事務部付部長)

謹んでお悔やみ申し上げます。

訃報

戸川芳郎氏(名誉教授)

2025年12月14日逝去。満94歳。(1995～2004年在職)大学院文学研究科に教授として着任後、1999年に文学研究科長に就任。東アジア学術総合研究所客員研究員などを歴任し、学校法人二松学舎評議員も務めた。

小林公雄氏(名誉舎友)

2026年3月5日逝去。満78歳。(1970年～2013年在職)在職中は、二松学舎大学学務局長をはじめ事務局長を務め、学校法人二松学舎常任理事、評議員なども歴任。また、2013年～2023年まで二松学舎松苓会幹事を務めた。